



ご挨拶

日差しもキラキラと明るく輝き、暖かい春がやってきました。しかし、日本を含めた世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大しており、感染予防のため学校も一時休校したり、イベントの中止や延期、集会の自粛など、世の中全体が見えない暗い影に覆われています。いつ終息するか判らない状況の中で、外出を控えて家の中でじっとしているのは苦痛です。人の少ない田舎は良いですよ。久斗山はまだ大丈夫です。天気の良い日は、春を探しに出かけてみましょう。

【3月の公民館事業、「春の食べれる野草さがし」】

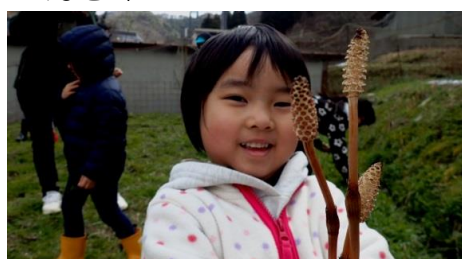
気温が高くなり、日差しも強くなってぽかぽか陽気になると野草の芽が伸びてきます。昔から山菜として食べられてきた野草を探し、採取して、野草クッキングでてんぷらにして春の味覚を体験してみよう。ということで、3月のこども自然教室は「春の食べれる野草さがし」を開催しました。

3月20日、春分の日この日、朝から風が強く少し天気が心配されましたが、開会時間の午前10時になると子供10人、大人9人、合計19人と多くの参加者がありました。

最初に参加者の自己紹介、遠く丹波市から来てくれたご家族もありました。その後で、春の七草についてや、身近な野草や木の芽について、事前に採取してあったアサツキやワサビ、クロモジ、コシアブラなどを観察しながら解説を受けその後みんなで大杉神社や近くの畑で食べれる野草をさがし、採取しました。人が食べれる野草はシカも大好物です。シカの食害であまり無かったけど、シカ柵で囲った畑の周辺で、なんとかツクシやヨモギ、セリ、カンゾウなどを見つけることができました。採取した野草は、水洗いして種類ごとに分け、それぞれてんぷらにしてお昼ご飯の時に食べました。

アサツキやヨモギ、セリはかき揚げに。ツクシはステック状、クロモジの新芽は枝がついたまま。フキノトウやワサビの葉、椎茸は普通に。差し入れてもらったサツマイモはから揚げチップスにしました。シカ肉の一口カツまであり、ご馳走

少し
つま
み食
い



ツクシを見つけました



セリやカンゾウ、フキノトウ



アサツキ、ヨモギのから揚げ



【祝！ご卒業おめでとう。】

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、町内の学校は3月4日～15日まで休校となりました。ちょうど卒業シーズンでもあり、子供たちや父兄の皆さんや先生、学校関係者等、多くの方々が混乱し対応に追われました。感染防止対策や、自粛したり、延期したりと大変でしたが、それでも卒業する生徒にとっては一生の思い出です。なんとか開催できて、良かったです。

○2月28日：県立浜坂高等学校 卒業式

全員マスク着用、入場する父兄は式場入口で手を消毒し、式場の窓は換気のため開けたままという状態で執り行われました。卒業生75名が、この日浜坂高校を巣立ちました。久斗山からは中村真弥さん、山本涼音さんの2人が卒業しました。山本さんは壇上に上がり、答辞を読みました。

○3月18日：新温泉町内中学校 卒業式

当初予定の日程を、延期しての開催となりました。浜坂中学校では75名が卒業しました。

○3月19日：新温泉町内小学校 卒業式

浜坂東小学校より事前に、来賓の招待は控えさせていただきたいとの連絡をいただきました。この日、証書授与式の後、6名の卒業生が、校庭で在校生のアーチに見送られて巣立っていきました。



県立浜坂高等学校卒業式



町立浜坂東小学校卒業式

【久斗山、境地区 総会】

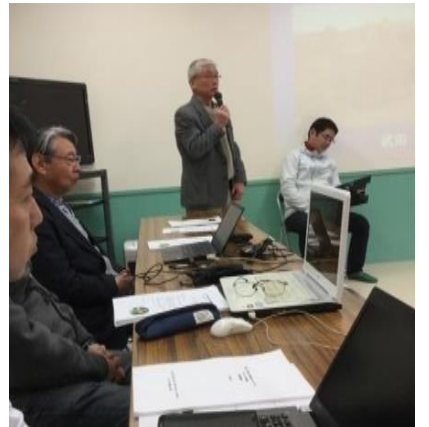


3月は年度末ということで、昨年4月からの1年間分の締めくくりとなり、次年度に向けて新たな計画を立てる月です。

22日(日)午前9時より、久斗山と境両地区で令和2年度の初総会が開催されました。久斗山では、区長の冒頭挨拶で1戸減になる話があり、次年度は43.5戸です。令和1年度の報告や2年度の計画が協議され、決議されました。役員改選が無いので早く終わりましたが、年々高齢化が進み、人口減少で一抹の寂しさを感じました。

【町内の自然について学ぶ！「上山高原自然研修会」】

8日(日)午後1時半より上山高原ふるさと館(新温泉町石橋)で、上山高原の草原等の自然を1年間モニタリング調査した結果について、植物や野生動物、クモ、イヌワシの研究者による報告会が開催されました。約40名の参加者があり、イヌワシの繁殖の可能性や、シカによる希少植物の食害が深刻な状況あることが報告されました。



【高い山はまだ雪が…扇ノ山の残雪登山】

3月半ばに少しだけ雪が降りましたが、もうすっかり消えてしまいました。しかし、標高が1千メートル以上の高い山にはまだ、1m近い積雪があります。21日加藤文太郎山の会の登山があり、15名が扇ノ山の山頂に登りました。朝から快晴に恵まれ、山頂付近からは遠く、大山が望まれました。



扇ノ山(1310m)のブナ林

○令和2年 4月の行事

- 1日(木) 新年度 エイプリル・フル
- 5日(日) 久斗山 引継ぎ会 9:00～
- 18日(土) 上山高原山開き・山焼き(9:00～15:00) 上山高原
- 19日(日) 自然教室「春の野草の花観察会」(9:00～11:00)久斗山地区公民館



兎和野 木の殿堂

「五月人形組み木教室」

◎開催日: ■経験者コース

令和2年4月11日(土)13:00～16:00

■初級者コース

令和2年4月12日(日)13:00～16:00

○集合:木の殿堂 工作室

○料金:1500円(経験者)1200円(初級者)

【内容】

小黒三郎氏デザインの「五月人形組み木」を電動糸ノコを使って製作します。

【問い合わせ・申込み】

兵庫県 木の殿堂

0796-96-1388

メール:kinodendo@gmail.com



林の中で木漏れ日を浴びて咲く
ミヤバカタバミ

今月の野草

ミヤマカタバミ

少し暗い里山、早春の日の光が差し込む林床で、ぽつと白く耀く小さな花を見つけた。三角の三つ葉が根元から伸びています。この葉っぱを齧るとすっぱい！

かたばみ(傍食)の名前は、こ

かってに昔話 池ヶ平の大蛇 (第三話)

作、いっこう

「さや、池のそばで会っていた男は誰なんだ」
直は思い切ってさやに聞いてみました。
「え。直はこっそり私の後をつけたの？ 酷いなくあの人は都から来てるお役所の人よ。都の様子や美しさを教えてくれたわ。とても優しい人だし、私も、都に行ってみたくない」
さやは夢を見るような目をして、そう言うのでした。
さやは次の日もその男に会いに池へと行きました。直もその後をつけて、隠れて二人の様子を見ていて、ふと池に映った男の姿を見た時、直は驚きました。なんと、その姿は、池を住家になっている白い大蛇だったのです。
「さやは男の正体を知らないで会っている。このままではさやは大蛇に取り殺されてしまう」そう思った直は、さやを助けるため、大蛇を倒す意思を固めました。そして直は池の水をせき止めて、谷の要石を大きな金棒と槌を使って破壊したのです。要石があったところから流れた水は水量が増し、やがて「おーっ」という轟音となって流れ出ました。要石が池の底の柱の役目をしていたので、池の水は渦を巻いて谷に流出し、みるみる減っていきましました。そして、その渦に飲み込まれていく大蛇の姿があったのです。
「これでさやは救われる」
直はさやを探しました。しかし、さやの姿もそれっきり村から消えてしまったのです。それから五日、さやは村から六里(約二十四キロ)下流で死体で発見され、その腕には一匹の白い青大将が巻きついていました(おわり)。